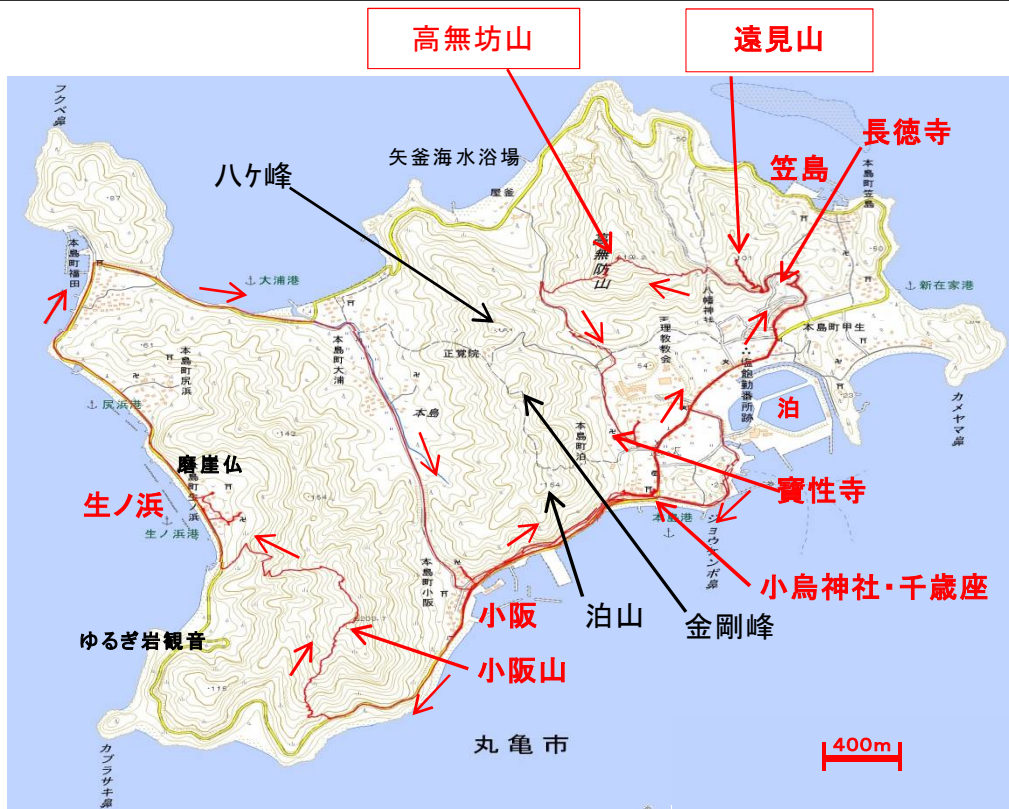


⑦-①

ほんじま 小坂山203.9m

2014年1月19日



【本島(ほんじま)】面積:6.74km² 周囲:16.4km
最高点:小坂山203.9m 人口:446人(H25) 飲食店:4軒
商店:5軒 宿:6軒 公衆トイレ:7か所
丸亀港からフェリーで35分・高速艇で20分

本島は、大小28の島々からなる塩飽諸島の中心となる島で漁業や海上交通の要所にあります。戦国時代～江戸時代において自治権を与えられた島々をまとめる役所＝塩飽勤番所(1798年設置)が置かれました。今は、塩飽水軍の歴史資料が多数展示され観光の目玉になっています。特に、信長・秀吉・家康から与えられた朱印状は必見です。

笠島では、塩飽水軍の拠点として古くから開かれた港町で江戸末期から昭和初期に建てられた漆喰塗りの白壁やなまこ壁のある町並みは、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されており内部見学ができる邸宅もあり是非訪れたいところです。

尻浜の水見色小学校は、映画「機関車先生」の撮影のために修復したもので、劇中の「水見色(みずみいろ)小学校」の名前がそのまま残されています。泊の小鳥(こがらす)神社には、江戸時代の後期に建てられた芝居小屋『千歳座』が残っています。建てたのは、金毘羅金丸座(天保6年(1835年))に携わった塩飽大工です。また、鳥居の右手に江戸時代の制札場があります。

【本島 小阪山203. 9m 山行記録】本島 part:1

丸亀港 7:40==本島渡泊港 8:15==千歳座 8:35==登山口 9:05=小阪山
9:54==下山口 11:00~11:15==千歳座 0:20~0:52=遠見山 13:30~13:50==
笠島集落 14:00~14:40==勤番所 15:10~15:55==泊港 16:10==丸亀港 17:40 着
(解散)

本島港から島周囲をよく整備された舗装道路を東へ30分、ピンクのテープがある斜面から登山開始！！登山道とは思えないほど滑りやすい足場に悩まされながら灌木をつかまりながら高度を少しづつ上げる。15分ぐらいで海の向こうに大川山、飯野山、青野山が間近に望め、暖かい日を浴びて心地いい。



このあたりから13年前の山火事の跡の焼けて灌木の根っこが目立つようになった。

しかし、松の木など高さのそろった木が一定の間隔であるところをみると植樹のようだ。少し歩き易くなったと思ったらすぐイバラとタラの木が前を阻む。



ハサミで切り、掻き分けながら進み小阪山(こさかやま)一等三角点へ。

雑木で展望は悪い。そのまま北へ歩むが全く踏み跡がなくなり大きな岩に阻まれる。

テープはもう見当たらず、先人はここで引き返したようだ。

私たちは前に進む、程なく左に下がる道らしきものを見つけ、下に見える生ノ浜集落めざし南東へ下ること40分、竹林から舗装道路に出る。どうやらここが正規の登山口のようだ。

生ノ浜集落から南へ約700m「生ノ浜尻浜自治会さわやかロード」の標識が目印。ただ、今は登る人もないのだろう荒れている。

リーダーの前偵察のおかげでイバラで傷を負うことなく下山出来た。感謝！！

ひと休みして再び千歳座(ちとせざ)に向かって道路沿いに引き返す。

千歳座で昼食をとり、今度は西廻りで遠見山(とうみやま)へ出発。

集落の中を標識に導かれてなんなく展望台へ。ここでの展望はすばらしい！

瀬戸大橋を坂出から児島まで一望出来、必見の価値ありだ。

遠見山を下ってすぐの笠島集落と島民(人名)が政務を司った勤番所を見学して帰路につく。

今回、小阪山往復の予定がヤブコギもあり、そのまま北へ下ったので時間切れとなり高無坊山には登れなかった。次の機会にしたい。

⑦—② 本島 ^{とおみやま} 遠見山104m・^{たかんぼうさん} 高無坊山 199m 2014年4月3日

【本島 遠見山104m・高無坊山 199m 山行記録】本島 part:2

お大師まいりとあって朝 07:40 丸亀発のフェリーは満席状況です。

08:20 本島港に到着。

09:05 第一番長徳寺にお参りし遠見山に向かいました。

09:25 遠見山登山道の途中の岩場にある2番おやみ堂にお参りして、

09:32 に遠見山展望台(104m)に到着しました。瀬戸大橋が一望でき、マリンライナーの轟音が島まで届いておりました。展望台で瀬戸大橋をバックに集合写真を撮り

①小坂山組 4人

②笠島街並み探訪組3人

③高無坊山組 4人の3班に分かれ出発しました。



遠見山展望所からの瀬戸大橋

高無坊山組 4人は遠見山を引き返し町道に出て右折、屋釜方面に登って行くと町道左側前方に高無坊山が見えてきます。まもなく登り口の立札が有り左折し、登山道に入ります。登山道は、笹が刈られしっかり道がついていました。登って行くと道脇に小ぶりなワラビが生えており、ミツバツツジのピンク花も咲いており楽しませてくれました。

09:55 高無坊山山頂(199.4m)に到着、三角点がありました。頂上から西側に本格的な道がついており、支柱にロープの手摺、丸太の階段が整備されていました。



高無坊山 山頂

10:39 高無坊山の西側登山口に出てきました。木鳥神社に通じる町道を南に下ります。沿道にツクシンボウが群生しており夢中で採りました。

11:05 途中十番札所「寶性寺」に立ち寄りしました。真言宗の大きなお寺です。境内には見事なソメイヨシノ

2本がところ狭しと咲いており島の人々が対応していました。塩飽観世音菩薩の旗一対が掲げられ、水軍由緒の寺のようです。

11:40 木鳥神社に到着。境内にある太子堂にお参りした直後、2班笠島組3人がタイミング良く戻って合流し、樹齢百年を超えるカイヅカイブキの日蔭でレーションを取りました。

12:00 ①班と連絡を取ると小坂山頂上とのこと。

12:25 時間があるので男二人で十六番札所阿弥陀寺まで足を延ばしお参りしてきました。浄土宗開祖・法然上人が1207年に讃岐に流罪になったとき九条家領地の本島にも滞在され「阿弥陀様に御祈念あそばされ、又のご縁でお世話になると、ともづな石に南無阿弥陀仏と爪彫りなされ、『是をわしと思え』とお別れをした。」と石碑に記されていました。



笠島集落

13:05 泊港ターミナルまで戻りました。13時40分頃①小坂山組5人がバスで生ノ浜から戻ってきました。小坂山で立派なワラビを沢山収穫してきており、これもお大師さんの贈り物と参加者に皆さんに振舞われました。

13:50 に臨時便がでると言うことで、14:30 に丸亀港に帰って来ました。

この日午後から雨の予報でしたが、天候に恵まれ春爛漫の一日を本島で楽しみました。また、お大師まいりに参加し島の人たちから沢山のお接待を受け心洗われる一日でした。地元の人たちがお米や材料・お菓子等を寄進し、調理からお接待まで一切を地区の人たちが分担して来島者を迎えてくれるのです。町あげてのこのような慣習は、他に体験した事はありません。本島の皆さん良い日をプレゼントして頂き有難うございました。